

# 全東京写真連盟 撮影会写真コンクール

## 入賞作品集



審査対象 青海ウォーターフロントモデル撮影会

撮影日 2024年10月27日

審査日 2024年12月14日

審査員：増田賢一先生



金賞  
「空の匂い」  
鵜飼 典彦 様  
モデル 中島 千智

### 審査員：増田賢一先生 講評

腕をクロスしつつ、柵にもたれながらのしなやかなポージングライン、これをより美しく見せる向きがちょうど柵上のラインと重なって、構図的にも安定した構成になってます。目を閉じ空を向くことで、美しい横顔と共に上への広がりすら感じますね。今回ヒネリながらもまとまりの良さではピカイチに感じた作品でした。ただ上の空間は視線と天井がすぐかち合い窮屈なので、軽く一步下がればさらに完成度が高くなったと思います。



銀賞  
「見つめる」  
片桐 研一 様  
モデル 彩兎宇 すず

### 審査員：増田賢一先生 講評

ベールの奥から見つめる目力、半端ないですね。蜘蛛の巣をかたどった黒のレースの不気味さと相まって、動けなくなってしまう、捕まりたくなってしまうような…、そんな事を考えていたら黄色い毛の衣装も蜘蛛っぽく見えてきました。実際コスプレではあるんですが、そういうのも的確にアップ狙いの構成で攻めた結果ですね。頭上のカットラインはもう少しだけ余裕欲しい感じですが、横位置でバランスいい構図がキマってます。



銅賞  
「大切なもの」  
逢坂 誠俊 様  
モデル 中島 千智

### 審査員：増田賢一先生 講評

背景ボケのクセを見るとオールドレンズなのか、そのソフトな描写を活かした雰囲気作りが効いてますね。目線から指先のラインと背景の橋のラインが韻を踏んでいるようで、構成的にも上手いです。フレーミング的にはラフさも目立ちますが、オールドレンズ故に中心部から顔をあまり離したくないせいもあるのかな、でも橋より上の空間は白くなるだけなので、上を入れないように狙えば、もっと画面を引き締めることができたと思います。



入選  
「うつくしいひと」  
高橋 敏之 様  
モデル 彩兎宇 すず



入選  
「at some future date...」  
門間 正之 様  
モデル Haru



入選  
「放っておけない」  
小幡 大輔 様  
モデル Haru



入選  
「色づく頃」  
内藤 勝之 様  
モデル 逢坂 美華



入選  
「想い」  
岸野 孝博 様  
モデル 中島 千智



佳作  
「棧橋・ブルー」  
石川 玲 様  
モデル 逢坂 美華



佳作  
「Boyish」  
荒井 秀雄 様  
モデル Haru





佳作  
「メルヘン」  
田沼 靖信 様  
モデル 逢坂 美華



佳作  
「ふとした瞬間」  
小野寺 基之 様  
モデル 結城 藤花



佳作  
「スカートをなびかせて」  
池田 道政 様  
モデル 中森 蓮



佳作  
「魔女 登場」  
金澤 義夫 様  
モデル 彩兎宇 すす



佳作  
「妖精」  
鈴木 幸彦 様  
モデル 彩兎宇 すず



佳作  
「X-GIRL」  
北条 善久 様  
モデル Haru



佳作  
「夢みる乙女」  
光井 貞二 様  
モデル 逢坂 美華



佳作  
「街角」  
三井 直人 様  
モデル 本多 瑠花



次点  
「緑に包まれて」  
田中 直久 様  
モデル 彩兎宇 すず



次点  
「ダルい午後」  
湯原 章綱 様  
モデル Haru



次点  
「緑と黒髪」  
小倉 良二 様  
モデル 彩兎宇 すず



次点  
「ひととき」  
栗原 恵一 様  
モデル 逢坂 美華



次点  
「ブラウンのアイシャドー」  
松岡 達雄 様  
モデル 彩兎宇 すず



次点  
「グッドスマイル」  
井原 亮祐 様  
モデル Haru



次点  
「秋にうっとり」  
高橋 伸幸 様  
モデル 逢坂 美華



次点  
「微笑みに引き込まれ」  
及川 昭夫 様  
モデル Haru





次点  
「秋のビッグサイト近く」  
五島 隆夫 様  
モデル 結城 藤花



次点  
「風は秋色」  
星野 祐一 様  
モデル 中森 蓮

## <全般講評>

当日は晴れ間少なく、時折雨もパラついたようですが、作品達を見る限り精力的に攻めていたものが多かったです。ハロウィンの季節だったせいもあって、コスプレやアスリート系のノリのモデルさんもいて、新しい風も感じることが出来ました。曇天となると、曇り空を画面に入れる場合どう処理するか、結構問題になります。フィルムの定席では白く飛ぶからなるべく入れないようにでしたが、デジタルの自動階調補正など駆使すれば、結構そのまま行けたりもします。使っていない人は試してみるのもいいかもしれません。

増田賢一